

元新党大地代表・衆議院議員

# 鈴木宗男

●収録日時：2003年



2002年に佐々木憲昭氏による追求を発端に勃発した「鈴木宗男バッシング」。マスコミ報道からは見えない「本物の鈴木宗男」に迫りました。

■光永 拘置所にはどのくらいおられたのですか？

■鈴木 拘置所に437日、保釈されてから40日になります。その半分は北海道に戻りました。

■光永 支持者の方の声はいかがでしたか？

■鈴木 釧路市、根室市、昔の選挙区であった十勝、網走などの管内、札幌で全土の講演者の皆様にお会いして「鈴木を信じている、筋を通してくれる、頑張ってくれ」

「北海道は失業率が6・2%と全国平均より1・1%高く、経済が疲弊している。立ち上がってくれ」と励ましを受けて、とてもありがたく勇気付けられました。

■光永 山銀の500万円について身に覚えはあるんですか？

■鈴木 私が明確に覚えているのは、平成10年の8月4日に官房副長官のお祝いに山銀の会長さんが100万円、社長さんが100万円、関連会社の代

表から50万円、4社から都合400万円です。それは官房副長官のお祝いであって、政治資金の範囲内ですから、領収書も切つて、政治資金の届出もしていました。同時に、そのお金は1ヶ月半後に強制捜査を受けたものですから、全額お返ししているのです。

■鈴木 平成9年10月と平成10年3月、6月、8月に、私に渡したと云うのです。仕事を頼んだという話ですが、全くお金の事は聞いておりません。島田さんという方は、昭和58年に私が1回目の選挙に出た時の幹事長で、地元では大変な経営者、地域のリーダーであり、私自身も長い付き合いで、疑う余地のない人です。

■光永 収支の記載漏れは？

■鈴木 昨年、先生のバッシングが大変でした。あれは意図的な何かがあるのでしょうか？

■鈴木 一つの中のファッショ的な報道の流れがありまして、初めから善玉と悪玉を作られて、悪玉のトップに私が据えられたのかなど。テレビ・新聞・週刊誌が取り上げた問題で裁判になつていのは一つもないので

■鈴木 政治資金規制法の書類は、私が書くのではなく、会計責任者に任せていました。

■光永 国会での偽証罪は？

■鈴木 偽証罪も昨年の3月17日の証人喚問も、私の記憶に基づいて正直に、質問に真つ正面から答えました。そして、各党の先生が告発された事案は、一つも事件になつていないのです。

## メディアが一方的に「悪玉」と決め付けたムネオバッシング

■光永 昨年、先生のバッシングが大変でした。あれは意図的な何かがあるのでしょうか？

■鈴木 一つの中のファッショ的な報道の流れがありまして、初めから善玉と悪玉を作られて、悪玉のトップに私が据えられたのかなど。テレビ・新聞・週刊誌が取り上げた問題で裁判になつていのは一つもないので

す。北方支援の問題、ODAの問題、アフリカ青年秘書の問題、何も事件になつていません。

私は「本当の事実を国民に知らせたのですか？作り上げたような裏付けのない事を流すのはなぜですか？」とお尋ねしたい。

私の顔付きやスタイルが、もう少しスマートで男っぽりが良ければ、印象も違ったのでしょうか？

■光永 鈴木宗男バッシングとは何だったのか、マスコミは真実を報道しているのか、と疑問に思っています。有名になつたムネオハウスとは、何だったのでしょうか？

■鈴木 国後島に「友好の家」を作りましたが、これの入札に関して私が便宜を図つたのではないかと、という疑惑でした。共産党の佐々木憲昭さんが「意図的に根室の業者に仕事をやるように外務省に働きかけたのではないかと？」と質問しましたが、これは佐々木さんの勉強不足です。北方四島の支援がスタートした時から、外務省と根

室市の間で支援事業について物資や仕事は、領土返還運動の資金を使うという約束があるんです。その約束を2年、3年と守つて来なかったものですから「規則を守つてください」と外務省に伝えただけです。

■光永 勝手連も行った国際支援をありがたいと名前を付けて呼んでくれる事もあります。お礼の証ではないかと思うのですが。

■鈴木 彼らは自国の国会議員も来ないのに、日本の国会議員の鈴木宗男が一番最初に来てくれた事を（特に平成6年の大地震後の平成7年の訪問など）とても喜んでくれました。

「北方領土返還は、日本の悲願で、日本の名誉として返してもらわなければ困る」という思いでやつて来ました。そのために環境整備も必要で、診療所、学校、宿泊施設の建設をしました。それらがすべて利権だとか私利私欲であるとか、一方的に報道されたのは、不本意であつたと思います。



プロフィール

### 鈴木宗男

すずき むねお

1948年北海道生まれ。拓殖大学政経学部在学中から衆議院議員の故・中川一郎氏の秘書を務める。1983年に中川氏が死去すると、衆院選で北海道5区から保守系無所属で出馬し、中川氏の長男・昭一氏と激戦の末、両氏共に初当選。北海道開発庁長官・沖縄開発庁長官（橋本内閣）、内閣官房副長官（小淵内閣）を歴任する。1998年には現職閣僚として初めて国後、択捉を訪問。2002年「日本人とロシア人の友好の家」建設を巡る疑惑が浮上すると、メディアは「鈴木宗男事件」として一斉に取り上げた。国策捜査との非難も上がる中、収賄容疑で逮捕、勾留される。2010年に最高裁が上告を棄却したことで、1年間収監された。

元、新党大地代表。趣味はマラソン。